

市議会本会議場に 国旗掲揚求める請願が採択

「町田市議会本会議場に国旗の掲揚を求める請願」。委員会では賛成少数で「不採択」でしたが、29日の本会議では委員会で反対した公明党が賛成に態度を変え、多数で「採択」という結果になりました。

日本共産党市議団は細野議員が、「①『国旗・国歌』法が制定された経過において国旗掲揚は強制しないとしたこと、②市議会には選挙で選ばれた市民を代表する議員が意見を述べ合う言論の府であり国旗の掲揚はふさわしくない」と反対討論をおこないました。

がん検診

受診率向上・無料化を

——場所の拡大、申請方法の改善にとりくむべき

町田市のがん検診の受診率は、都内二十三区や二十六市と比べて大変に低く、肺がんは一・一％、胃がんは二・〇％と目標値を大幅に下回っています。郵送による申し込み、検診場所が少ないことに加え、他の自治体ではほとんどが無料です。町田市がすべてのがん検診がクーポンが送付されてくるもの以外は有料であることが受診率の低い原因だと考えます。検診の拡充について

「健診の意義は大きい。利用率向上のため勧奨をおこなっている。生活習慣病予防のため、特定健康保険指導を受けてもらいたい若いころから健康を意識してもらうために五百円の有料制度は変えない」との答弁がありました。



佐藤よう子市議は、
市民の健康・いのちを守る市政を求めて「第四次町田市保健医療計画・まちだ健康づくり推進プラン」に基づき、成人健診、がん検診の拡充・受診率の向上、無料化を求めました。

6月1日から一般質問がおこなわれ、初日のトップバッターで佐藤よう子議員が質問に立ちました。その要旨を紹介します。

は、「場所や申し込み方法について研究していく」と答弁。「無料化は考えていない」と答弁がありました。

市民のメンタルヘルスについては、「重要課題と受けとめている」との認識が示されました。

貧困のない社会の実現を求めて

憲法二十五条を生かして、貧困のない社会の実現を求めて質問。担当部長は、「市民の貧困がひろがっていることは認識している」と答弁。相次ぐ孤立死、孤独死問題をなくすために、見守り支援ネットワークの拡充、地域での情報共有の認識について質問。また、地域センターなどでの相談窓口の設置を求めましたが、「休日に相談を実施しているため、設置の予定はない」という答弁でした。

一般質問 傍聴にお越しく下さい

開会時間は10時です



細野りゅう子 4日月5番目

- 介護保険料の引き下げと介護サービスの改善を求めて
- コミュニティバスなど公共交通のあり方を問う
- 放射能汚染から市民を守る町田市の対応を求めて



とのむら健一 4日月7番目

- 生活保護の対応について
- コストコ多摩境店スロープ崩落事故について
- 庁内放送について
- 公衆浴場（銭湯）に対する支援拡充について